

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第 29 主日 29th Sunday in ordinary time

御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。(2テモテ 4・2)

Proclaim the message and, welcome or unwelcome, insist on it.(2Tm 4:2)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事：50周年記念事業実行委員会 女性部西千葉教会巡礼

ロザリオ月(10月)のスケジュール October Month of the Rosary

10月16日 (栄) 松江・船堀・清新 奉獻生活を送っている方達の為に 典 407 番

10月23日 (光) 北・西葛西・浦安 葛西教会共同体とそのご家族の為に カ 314 番

*起立して聖歌1番を歌い、その間マリア様に献花しろうそくに灯をつける。歌い終わったら着席
*ロザリオの祈りが終わったら起立して聖歌2番を歌います。

壮年部慈しみの特別聖年巡礼

10月22日(土)に壮年部では、公共交通機関を使い神田教会と築地教会への巡礼を行います。奮ってご参加ください。参加の方は玄関の用紙にご記入ください。(壮年部)

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後11:30より小聖堂で行います。10月は23日(日)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。(宣教部：シスター植木)

献堂50周年記念事業第5期献金報告(修正)

2016年第5期報告(9月末現在)

申込者数：70名(目標：200名)

献金合計：1,494,200円(目標：3,000,000円)1期からの合計は11,949,086円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

50周年ロザリオの祈りの報告(2016年分)

9月12名190環です。累計で101名1,520環です。今年は3,000環が目標です。よろしくお願ひ致します。(50周年委員会)

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 11,949,086 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Tagalog na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga). November 2, December 7 ang unang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は10月27日、11月17日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

神は信じる者の願いを
聞き入れてくださる。

その他今後の予定

- 10月16日(日) 年間第29主日 女性部西千葉教会巡礼
- 10月23日(日) 年間第30主日
- 10月30日(日) 年間第31主日
- 11月06日(日) 年間第32主日
- 11月13日(日) 年間第33主日

今週の掃除は10月22日(土)
浦安グループです。皆様ご参加ください。

This Week's Church Cleaning Duty
October 22th Saturday
Urayasu Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第29主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (18 : 1 - 8)

〔そのとき、〕イエスは、気を落とさずに絶えず祈らなければならないことを教えるために、弟子たちにたとえを話された。

「ある町に、神を恐れず人を人とも思わない裁判官がいた。ところが、その町に一人のやもめがいて、裁判官のところに来ては、『相手を裁いて、わたしを守ってください』と言っていた。裁判官は、しばらくの間は取り合おうとしなかった。しかし、その後考えた。『自分は神など畏れないし、人を人とも思わない。』

しかし、あのやもめは、うるさくてかなわないから、彼女のために裁判をしてやろう。さもないと、ひっきりなしにやって来て、わたしをさんざんな目に遭わすにちがいない。』それから、主は言われた。「この不正な裁判官の言いぐさを聞きなさい。まして神は、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために裁きを行わずに、彼らをいつまでもほうっておかれることがあろうか。

言っておくが、神は速やかに裁いてくださる。しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか。」

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (18 : 1-8)

Pray continually and never lose heart

Jesus told his disciples a parable about the need to pray continually and never lose heart. "There was a judge in a certain town" he said "who had neither fear of God nor respect for man. In the same town there was a widow who kept on coming to him and saying, 'I want justice from you against my enemy!' For a long time he refused, but at last he said to himself, 'Maybe I have neither fear of God nor respect for man, but since she keeps pestering me I must give this

widow her just rights, or she will persist in coming and worry me to death.”

And the Lord said, “You notice what the unjust judge has to say? Now will not God see justice done to his chosen who cry to him day and night even when he delays to help them? I promise you, he will see justice done to them, and done speedily. But when the Son of Man comes, will he find any faith on earth?”

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださいればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解放され、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。^{ぬすびと}

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感ずることが出来ます

ように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの

聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放

を、目の見えない人に視力の回復を告げることが出来ますように。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし
- 2) （教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 3) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 4) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 5) 神のいつくしみにかなった行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）